

米国50州 & D.C. 国盗りマラソン 2011年ロサンゼルスマラソン

二〇一一年三月二十七日

フル百回楽走会

593

武藤 翔峰

私は米国版フル百の「50STATES+DCクラブ」の会員になっており、3月20日(日)のロサンゼルスマラソンを完走し、カリフォルニア州の国盗りを達成した。ロサンゼルスは米国2番目の大都市で、約3万人のランナーが参加、ロサンゼルスドジャーズの本拠地、ドジャースタジアムを朝7時20分にスタートし、ダウンタウン、ハリウッド、ビバリーヒルズなどを通りサンタモニカビーチにゴールする素晴らしいワンウェイコースだ。スタート前には300回完走の富山の小路さんとお互い健闘を誓い合い写真撮影して元気に走り出した。前半は小雨模様であったが後半からすごい土砂降りの雨と強い風に苦しめられ、やっとゴールすることができた。ゴール後預けた荷物を引き取りに行った所、荷物は大会当局が管理しておらず、ランナーが自分で見つけて引き取る日本では考えられないシステムで、ゆるく縛ってあった荷物は中身が散乱、多くの人が見つけられなかった。幸いにも私は殆ど奇跡的に荷物を見つけれられたが、このような大会では荷物は預けない方が良いと思った。



50STATES+DCクラブのユニフォーム



小路さん 300回



スタート前



コース前半



コース中間点



ゼッケンと完走メダル

マラソンの前には、以前羽島で英会話を習っていた友人のランディの自宅（オレンジ郡）に泊った。彼には、空港への出迎えやゼッケンピックアップ、ダウンタウンやハリウッドの観光、マラソン当日の送りなどで大変世話になった。前々夜、前夜には祝杯の完走祈念パーティーを開いてもらい、お店に来た人たちと一緒に米国版国盗りマラソンの話題で盛り上がった。

ハリウッドの「トイ&コスチューム」では、スパイダーマンの衣装を購入、時々はこれを着て走ってみるつもりだ。マラソンの後、ランディーと別れてからは、「酒と女をこよなく愛し、自由で気ままな一人旅」を満喫し、サンタモニカビーチやベニスビーチなど西海岸の有名なビーチリゾートで過ごし、西海岸特有の美しい海岸線を散策、マラソンの疲れを癒した。



完走前夜祭



ハリウッドサインをバックに



ハリウッドにて



スターマーク



ヴェニスビーチ



スパイダーマンの衣装を購入

ロサンゼルスの上にサンフランシスコに移動し、フィッシャーマンズワーフやチャイナタウン、ゴールデンゲートブリッジを観光したり、半日観光バスで市内観光したり、ケーブルカーに乗ったりして、春のサンフランシスコの名所旧跡を巡った。また、脱出不可能と言われながら脱獄を企てたことで一躍有名になった、アルカポネなどの凶悪犯が収容されていた刑務所「アルカトラズ島ツアー」に参加した。

このツアーは人気が高く当日のチケットは購入不可とのことだったので、あらかじめネットで予約購入したが正解だった。フィッシャーマンズワーフでは、おいしいクラムチャウダーを食べたり、街角の似顔絵描きに似顔絵を描いてもらったりした。今回もユースホステルに泊り自炊しての節約ツアーであったが、同室の外国人たちと交流を深めネイティブの英語を楽しんだ。



ケーブルカー



ケーブルカー



フィッシャーマンズワーフ



ゴールデンゲートブリッジ



アルカトラズ島ツアー



街の似顔絵描き